

バルカーテクノロジーニュース 冬号発刊にあたって



皆さまには、日頃からValqua Technology Newsをご愛読いただき、心より御礼を申し上げます。
謹んで2025年新春のご挨拶を申し上げます。

2025年の幕開けにあたり、昨今の技術分野における世界情勢を振り返りますと、生成AIに代表される先端半導体技術、AIを応用したアプリケーション技術（MI/自動運転/画像診断/等）、その進化のスピードは益々加速してきていると実感しています。更に、持続可能な社会に向けた新エネルギー技術やEVの普及、民間企業による宇宙探査の展開など、経済及び社会構造に大きな変化をもたらす技術革新も地政学的な動向に影響を受けながら注目されてきています。

当社は、こうした激動の時代においても経営理念である「THE VALQUA WAY」、そして今年度からは「Well-Being経営」を新たに加え、ステークホルダーの皆さまに最高満足を提供するべく、昨年4月から3か年の中期経営計画NF2026（New Frontier 2026）に基づき、事業活動を推進しています。今年度から新たに加わったWell-Being経営の研究開発部門では、様々な技術革新が進展していく中で、継続的に豊かな社会と地球環境に貢献するためには何が必要かを常に正しく考え、社名の由来でもあるValueとQualityをより高度なレベルで提供し続けることが必要と考えています。その実現のために、長年培ってきたコア技術、及びデジタルを含めた新技術の獲得を両輪とし、その両輪から生み出される差別化技術、付加価値に拘り続けることに挑戦してまいります。

本号のテクノロジーニュースでは、デジタル技術を応用したサービスソリューション事例、素材の高機能化や特性評価に関わる技術論文に加え、新たな用途展開を秘めた新製品紹介など、当社が取り組む最新の技術開発や製品ソリューションを紹介しています。

まず、顧客ニーズに応じたアジャイル開発により進化させた、クラウド上での効率的かつ一体的な管理を実現するサービス「MONiPLAT」、プラントの日常保全業務をデジタル化した「SPM」、結晶学的特性を活用した成形プロセスの最適化手法を提案する「PTFEの状態分析」、原子力発電所燃料プール向けリップパッキンの低圧縮荷重シールを実証する「燃料プールの水漏れ緊急対応措置」、半導体WET市場向けに耐薬品性と純粋性を両立させた「TOUGHUORO-WP75」、水電解水素発生装置向けに高応力化を実現した「TOUGHUORO-AC85」を取り上げています。それぞれ特長と開発背景を詳述しますが、これらの情報が皆さまのお役に立つことが出来ることを願っています。

当社が多様なニーズに応えるべく、Well-Being経営のコンセプトでもあるワクドキ感を持って前向きに技術革新と価値創造に取り組み、皆さまの事業活動や社会課題の解決に挑み続ける決意をお伝えし、今後とも、当社製品・サービスへのご愛顧とともに、このバルカーテクノロジーニュースをご愛読賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

技術総合研究所長 能勢 正章